

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年05月17日

計画の名称	藤枝総合運動公園の防災機能の強化												
計画の期間	平成31年度 ~ 令和05年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	藤枝市												
計画の目標	<p>藤枝総合運動公園は、藤枝駅から約5kmの丘陵地に位置し、人と自然のハーモニーをテーマに、豊かな自然の中でスポーツやレクリエーションを楽しむため、サッカー場、陸上競技場、野球場等を整備し35.0haを供用している。</p> <p>本市は、発生が危惧される南海トラフ巨大地震の想定震源域に位置し、静岡県の第四次地震被害想定では、建物の全壊及び焼失被害約19,000棟、死傷者5,500人が想定されるなど、市内全域に甚大な被害が想定されている。また、近年の気候変動による台風の大型化や猛烈な雨や局地的大雨等が増加し、水害・土砂災害の発生リスクも高まっているため、これらの災害に対し避難者の受け入れが可能となる防災施設の整備が必要となっている。</p> <p>こうした状況の中、藤枝市地域防災計画に市の総合的な防災拠点として位置付けられた本公園の防災機能を強化し、市民の安全・安心を確保する。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,307	A	2,307	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標(定量的指標)	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	既存施設の改修により避難者受け入れ態勢を整える。 大規模災害時の避難者の受け入れ人数を0人から1,571人にする	R1.12末		R6.3以降
2	既存施設の改修により物資受入機能の向上を図る。 物資備蓄数量を27,500食から110,000食に増加する	27500食	食	110000食

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	藤枝市	直接	藤枝市	-	-	都市公園事業(総合運動公園サッカー場改修事業)	災害時に広域避難地となる公園施設の改修	藤枝市						560	2.83	策定済	
	A12-002	公園	一般	藤枝市	直接	藤枝市	-	-	都市公園事業(総合運動公園サッカー場改修事業)(5か年防公)	災害時に広域避難地となる公園施設の改修	藤枝市						1,747	2.83	策定済	
											小計						2,307			
											合計						2,307			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
本計画は計画期間中に他の整備計画に移行したもので、移行した整備計画終了後に合わせて実施。	移行後の整備計画終了後に実施（令和7年度実施予定）
	公表の方法 市ホームページにて公表予定
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	現時点で効果の発現は未達だが、台風に伴う豪雨や局地的大雨等による水害・土砂災害時に避難者の受け入れが可能となる屋根付き観客席を整備するとともに、防災備蓄倉庫を整備することにより防災拠点としての機能の強化を図るため、他の整備計画に移行して事業を継続し、効果の発現を見込む。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	現時点で効果の発現は未達だが、大規模災害時に備え非常用発電設備や大型映像装置等を整備することにより、非常時における電源の確保や避難者・広域援助隊等への円滑な情報伝達手段を確保するなど、防災拠点としての機能の強化を図るとともに、平時におけるスポーツ交流拠点としての機能性の向上も併せて図るため、別の整備計画「賑わいを創出するスポーツ交流拠点の整備」に移行して事業を継続し、効果の発現を見込む。
特記事項（今後の方針等）	
大規模災害時に本市の「総合的な防災拠点」となる藤枝総合運動公園の防災機能の強化と併せて、平時における「スポーツ交流拠点」としての機能の向上を図り、交流人口の拡大と地域経済への波及を目指すため、別の整備計画「賑わいを創出するスポーツ交流拠点の整備」に移行して事業を継続し、同計画終了後に目標の達成を目指す。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	大規模災害における避難者受け入れ人数	
	最終目標値	1571人
	最終実績値	0人
2	物資（食料）備蓄数量	
	最終目標値	110000食
	最終実績値	0食